

災害に備える①

非常持出品、備蓄品

非常持出品

いざという時に、すぐに持ち出せるよう非常持出袋に入れて準備しておきましょう



食料品

- ☐ 飲料水
(1人1日3リットル)
- ☐ 非常食



防災用品

- ☐ ヘルメット ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 懐中電灯 ☐ 電池
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ 携帯トイレ



日用品

- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ トイレットペーパー
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ ゴミ袋 ☐ 洗面用具



医薬品・衛生品

- ☐ 常備薬 ☐ お薬手帳
- ☐ マスク ☐ 消毒液
- ☐ 体温計



衣類など

- ☐ 上着・下着
- ☐ タオル
- ☐ 雨具



貴重品

- ☐ 預金通帳 ☐ 印鑑
- ☐ 現金
- ☐ マイナンバーカード
- ☐ 身分証明書

プラス 状況・状態に合わせて持出品を追加しましょう

乳幼児がいる場合

- ☐ ミルク・ほ乳瓶
- ☐ ベビーフード
- ☐ 紙おむつ
- ☐ おしり拭き
- ☐ 母子手帳



高齢者がいる場合

- ☐ 介護食
- ☐ 処方薬
- ☐ 紙おむつ
- ☐ おしり拭き
- ☐ 老眼鏡 ☐ 杖



ペットがいる場合

- ☐ ペットフード
- ☐ ケージ・キャリーケース
- ☐ 首輪・リード
- ☐ トイレ用品
(ペットシートなど)

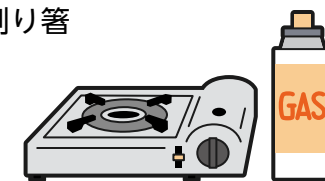
備蓄品

最低3日分、できれば1週間分を備蓄しましょう

大規模災害が起こると、物流が麻痺し食料や日用品が手に入りにくくなったり、電気・水道・ガスが長期間使えなくなることがあります。食料や日用品は「ローリングストック」をうまく活用して計画的に備蓄しておきましょう。

飲料水

- ☐ 食品(常温で保存できるレトルト食品や缶詰など)
- ☐ 卓上コンロ・ガスボンベ
- ☐ ラップ、紙コップ、紙皿、割り箸
- ☐ ポリタンク、給水袋
- ☐ トイレットペーパー
- ☐ ティッシュペーパー



ローリングストックとは

普段から少し多めに買っておき、使ったら使った量だけ新しく買い足して、常に一定量の食料や生活用品を家に備蓄しておく方法です。



自宅の安全対策

石油ストーブ

対震自動消火装置のあるものを使用し、ストーブの上に洗濯物を干さない



本棚・タンス

ベッドの上や出入口を塞ぐ方向へ倒れない位置に置き、固定器具を設置する

非常用照明

停電に備えて、枕元に明かりを用意する

スリッパ

足のけが予防として、寝室に置いておく

非常用持出袋

避難時にすぐ取り出せる場所に置き、定期的な中身を確認する

玄関・廊下

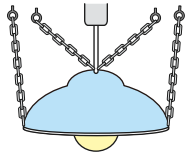
避難経路になるので余計なものを置かない

家電

固定して転倒防止、扉にはストッパーを設置する

照明器具

吊り下げ式タイプのものは、複数箇所を鎖やワイヤー等で天井に留める



食器棚・収納棚

固定器具を設置する
開き戸にストッパーを設置し、ガラス戸には飛散防止フィルムを貼り、食器の下にはすべり止めシートを敷く

ガスボンベ

転倒しないように鎖等で固定する

窓ガラス

飛散防止フィルムを貼る

テレビ・テレビ台

低い位置に置き、金具や粘着マットなどで固定する

甲斐市では地震に強い安全な住まいづくりを進めています

甲斐市では大地震に備えるために昭和56年5月31日以前の旧建築基準法で建てられた木造住宅を対象に無料で耐震診断を行っています。

また、耐震診断の結果、総合評点が1.0未満と診断された木造住宅については、耐震改修工事などの補助金を利用することができます。



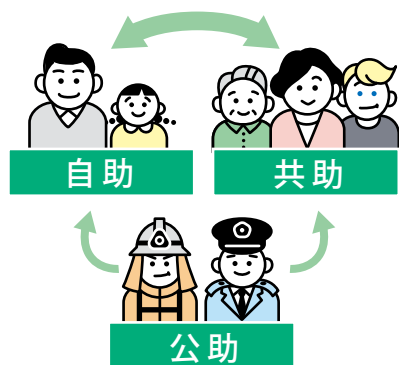
詳しい内容については、甲斐市のホームページを確認してください

甲斐市 木造住宅耐震化支援事業 **検索**



災害に備える②

自助・共助・公助



大規模な災害が広範囲に発生した場合、市や消防署などの防災機関だけでは対応には限界があります。そのため「自分たちのまちは自分たちで守る」意識を持ち、自助・共助・公助の連携で災害に備えましょう。

自助… 自分や家族の命や財産は、まず自分たちで守ることが大切です

共助… 災害時には地域での助け合いが欠かせません
普段から地域の人たちと交流を深めておきましょう

公助… 市役所、消防、警察、自衛隊などの防災機関が支援します

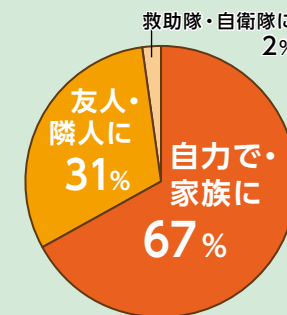
❗ 重要ポイント

- ・日ごろから隣近所に声を掛け合い、誰がどのような状態で暮らしているか気にかけておく
- ・地域の防災訓練や講習会などに積極的に参加し、災害時での自分の役割を確認する



数字で見る自助・共助

阪神・淡路大震災時に生き埋めや閉じ込められた人の救助は、「自力で」「家族に」などの自助は約67%、「友人・隣人に」などの共助は約31%、救急や自衛隊などによる公助は約2%でした。



右図：阪神・淡路大震災における生き埋めや閉じ込められた際の救助主体等

(財)日本火災学会(1996)

「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」参照

要配慮者への対応

高齢者、病気の人

背負ったり、ひじや肩につかまってもらうなど安全な方法で誘導しましょう。日常的に服用している薬は忘れずに持参してください。



目・耳が不自由な人

目の不自由な方には声をかけながら杖を持っていない方の肘に軽く触れるか腕を貸してゆっくり誘導し、耳の不自由な方には手話や筆談、身振りで状況を丁寧に伝えましょう。



身体の不自由な人

その人に合った誘導方法を確認し、早めに行動しましょう。車椅子を使う人の場合、階段では必ず3人で協力し、上る際は前向き、下りる際は後ろ向きにして、安全かつ安心できるように心がけてください。



知的・精神的障がい者

ゆっくりと優しく話しかけて安心させ、避難所まで一緒に行動しましょう。



妊婦・乳幼児

困っていることがないか声をかけ、避難所まで一緒に行動しましょう。



外国人

簡単な単語や身振りなどで現在の状況を知らせ、避難所まで一緒に行動しましょう。



情報入手する

防災行政無線テレホンサービス

防災行政無線の放送内容が確認できます。0800-800-6756 (無料)
055-230-6650 (有料)

甲斐市住民向け情報配信メール ※事前登録が必要

防災行政無線の放送内容をメールでお知らせします。

- ① 右のQRコードまたは、**t-yc-kai@sg-p.jp** へ空メールを送信
- ② 登録案内メールが届くので、本文を確認後登録を行う



緊急速報メール ※事前登録は不要

市内にいる方々に専用の着信音とポップアップ表示によってお知らせします。
対応機種や設定方法は、お使いの携帯電話会社にお問い合わせください。

データ放送ボタン (dボタン)

ご家庭のテレビで、災害に関する情報を確認できます。



スマートフォンアプリ

Yahoo! 防災速報

事前登録を行うと、災害時などに甲斐市の緊急情報が配信されます。



Safety tips

緊急地震速報など災害時に必要な情報を提供する多言語対応のアプリです。



WEB サイト

やまなし防災ポータル

気象情報や避難情報などが確認できます。
<https://pref-yamanashi-bousai.my.salesforce-sites.com>



デジMap甲斐

本市が保有する都市計画情報や道路情報、防災関連情報、公共施設など、暮らしに関わる地図情報を確認することができます。
<https://webgis.alandis.jp/kai19/portal>



安否を伝える

171 災害用伝言ダイヤル (171)

被災者が伝言を録音し、家族友人が電話で再生できる「声の伝言板」です。

171

にダイヤルし
音声ガイドに
したがう

録音の場合 1
暗証番号を利用する録音 3

再生の場合 2
暗証番号を利用する再生 4

被災者の電話番号を
市外局番から入力

055-□□□-□□□□
0551-□□-□□□□

伝言を録音
※30秒以内

伝言を再生

WEB 171 災害用伝言板 (web171)

インターネットを利用して安否確認を行う「文字の伝言板」です。

サイトに
アクセス
する
www.web171.jp

伝言の登録

伝言の閲覧

被災者の電話番号を
市外局番から入力

055-□□□-□□□□
0551-□□-□□□□

伝言を登録

伝言を確認
・追加登録

防災関連機関

	施設名	所在地	電話番号
市役所	甲斐市役所(本館・新館)	篠原 2610	055-276-2111
	甲斐市役所(敷島庁舎)	島上条 2254-1	055-277-3111
	甲斐市役所(双葉庁舎)	下今井 171	0551-28-2211
消防	甲府地区消防本部西消防署	竜王 3314-1	055-276-3825
	甲府地区消防本部敷島出張所	島上条 350-5	055-277-8119
	韮崎消防署双葉分署	龍地 5184-1	0551-28-0119
警察	甲斐警察署	志田 670	0551-20-0110
	竜王交番	篠原 2323-1	055-276-2002
	敷島交番	島上条 1771-2	055-277-2045
	登美警察官駐在所	龍地 6561-5	0551-28-2148
支援域災害 病院	赤坂台病院	竜王新町 2150	055-279-0111
	三枝病院	竜王新町 1440	055-279-0222
	竜王リハビリテーション病院	万才 287-7	055-276-1155